

笑顔みらい渋川 福島丘泰
中澤功史
高野佳美

1.視察日程 令和5年7月27日

2.目的 つくば市教育大綱策定後の教育推進の取り組みについて
(1)一人ひとりの違いが受容される環境における個別・学びの具体例
(2)非認知能力を得られる機会の具体例

3.視察先 つくば市議会（茨城県つくば市）

4.視察内容及び概要

つくば市教育大綱をもとに学校教育指導方針、コミュニティスクールが充実。

(1)一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実が学校教育指導方針の中に示されており、具体化の為の取り組みとして

☆全教職員取り組む特別支援教育の充実、通常の学級担当や特別支援教育支援員を含めた教職員間及び学校や学級間の連携による指導支援の充実に取り組んでいる。

(2)「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識へ」

☆安心、信頼の生活環境づくり。

☆深究的・協働的な（認知能と非認知能力を授業の中で同時に育む）学習環境づくり。

☆実体験や試行錯誤が保証される環境づくり。

このように、非認知能力を教えられるものではなく、環境を通して育むものと捉え、子供の好奇心を尊重し最後までままでやりぬく体験が出来るよう環境づくりに重点をおいている。

(3)特色ある指導方針（管理から自己決定へ）「させる」から「支える」へ生徒指導を充実させる。

☆自己存在感の感受

☆共感的な人間関係の育成

☆自己決定の場の提供

☆安全・安心な風土の醸成

具体例として、

◎校則や約束の見直し

【児童、生徒会を活かし、児童生徒が主体的に考える機会を設け、絶えず積極的に見直す】

◎児童生徒の考え方を活かした ICT 機器の使い方や情報発信等のルールの作成

【学級、学年、学校、家庭で誰もが安心して使用できる使い方について考える】

このように子供たちが考える時間を確保し、子供たちが決めたことが尊重されているかに重きをおき「認められる場所と環境」を学校生活の様々な場面で設定することに努めている。

(4)その他

つくば市では義務教育9年間を見通し小中学校教育の連続性の確保を重視し、発達段階に応じた指導が重要と考え、各学校9年間を貫いて共通の「指導目標、指導内容、指導の考え方」が設定され、さらに、学園の保護者、地域協力のもと小中一貫教育が実施されている。また、ICTにおいては、それを支えるつくばGIGAスクール構想があり、高速大容量NWや、アセスメント体制の構築などのネットワークの充実、学習者用デジタル教科書や保守サポートなど一人一台端末での可能性を最大限に利用し、データの利活用や学習eポータル活用の活用、セキュリティーポリシー策定等のクラウド運用にも努めている。それにより、ITCで時空を超える『つくばシームレス教育』（学校と家庭を含めた学校外での学び、個別の学びと協働の学び、9年間の学びが時空を超えて切れ目なく繋がりにいつでもどこでも学びたい時に学ぶことが出来る）の実現を目指している。

最後に、今後学校と地域が一体となり特色ある学校づくりを進める為コミュニティ・スクールにおけるカリキュラム・マネジメントに力を入れている。

5.員所感（意見・課題・本市への反映など）

(1)一人ひとりの違いが受容される環境における個別・学び

管理職及び特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の強化、校内委員会等の計画的、継続的実施。特別支援教育巡回相談の実施。障害のある児童生徒に対する理解を深める為の交流及び共同学習の充実。

本人及び保護者意向を踏まえた「個別の教育支援計画」作成と活用による支援の充実。（幼児期からの情報の引き継ぎ等）

今現在のシステムをさらに細分化、充実させる事で対応可能になる。

(2)非認知能力を育むために

自律性

（子供が選んで自分の意思でやっていると実感を持てるようにする）

有能性

（子供たちの今の力を少し超える課題を設定し、達成感を持てるようにする）

関係性

(教師や友達に価値を認められ、尊重されてると感じるようにする)
主観を子どもたちに変えるよう取り組み、結果より過程を大切に教育推進。

(3)特色ある指導方針

①授業の充実

学習問題や課題の工夫、提示方法の工夫、考えを表現する場の設定、考えを広げ深める場の設定、自分で考える力を伸ばす。

②学級経営の充実

自分達で考え解決する為の手立て、チャレンジや失敗が許される安心した学級づくり、教えるのではなく気づかせるなど学級経営で主体性を育む。

③特別活動の充実

話し合い活動の充実により話し合いのスキルを身につける、創意工夫するなど係活動の充実。

渋川市においても教育大綱を策定しておりますが、理想を現実にする為にはさらに具体化された学校教育指導方針を細部にわたり学校関係者、専門家、地域、保護者、生徒の意見を交え確立する必要があります。つくば市では多彩な面から研究し、市長自らが探究する過程でイエナプランに出会い教育委員会の方々と共にオランダへイエナプラン教育の視察を行ったとの事。様々なものを取り入れながら渋川市独自の教育方法の確立を取り組みたい。

